

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅰ

教 科： 芸術 科 目： 音楽Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（ ON！1 音楽之友社 ）

教科 芸術 の目標：

【知 識 及 び 技 能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるよう

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組む、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	詩と旋律との関係を生かして、日本歌曲を歌おう 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解する。 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 リズム、旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	基本的な発声 言葉の抑揚やリズムと旋律との関係 詩のイメージと曲想 「校歌」 「少年時代」 「花は咲く」 「この道」など	○				【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 リズム、旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	9
	音色を工夫してリズム・アンサンブルをしよう 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに器楽表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組む。	ソルフェージュ 「クラッピングカルテット第1番」など		○			【知識及び技能】 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに器楽表現を創意工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	曲想を比較しながら、ミュージカルのよさを味わおう 【知識】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴く。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組む。	曲想の比較 英語の発音と詩との関わり 「サウンド・オブ・ミュージック」 「Edelweiss」 「Climb Ev'ry Mountain」			○		【知識及び技能】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	9
2	言葉の特性を生かして、ヨーロッパの歌曲を歌おう 【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する。 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	イタリア語・ドイツ語の発音 言葉のアクセント 詩のリズムと旋律 「l'0 sole mio」 「Hidenröslein」など	○				【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	9
	クラシック・ギターに挑戦しよう 【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解する。 曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって	右手・左手のフォーム アヤポンド奏法 チューニング ポジションとタブ譜 「喜びの歌」など		○			【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって	○	○	○	9

[illegible]